



第18回北坂戸ファミリークリニック 地域連携セミナー

平素は当院の診療業務にご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。
ございます。

2022年12月15日に第18回となります、地域連携セミナーを開催させて頂きました。

今回のセミナーにおきましても、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、前回同様にウェブ配信という形で講演させていただきました。

参加いただきました皆様には、この場をお借りし感謝申し上げます。

今回のセミナーにおきましては、以下のテーマにて、演者の先生方に症例報告を頂きました。

<テーマ>

「在宅医療における訪問リハビリテーションとの連携の重要性」

<セミナー演者>

北坂戸ファミリークリニック

院長 野口 哲

カナオ訪問看護リハビリテーション鶴ヶ島

理学療法士望月佑樹先生

セミナーでは、理学療法士の立場から見た多職種の重要性について、患者様・その家族との関わりを、症例をまじえ、お話頂きました。

～講演を終えて～

《カナオ訪問看護リハビリテーション鶴ヶ島 理学療法士望月佑樹先生》
『在宅医療における訪問リハビリテーションとの連携の重要性』という
表題で講演させていただきました。

訪問リハビリテーションにおける連携について”少しでも分かりやすく”
また、在宅医療での連携の重要性をテーマにお話しさせて頂きました。
私自身、訪問リハビリの役割を振り返り、考え直す事ができ大変勉強に
なりました。

講演の機会をいただき感謝いたします。

《北坂戸ファミリークリニック 院長 野口哲》

師走のお忙しい中、当院の地域連携セミナーを御視聴いただき、ありがとう
ございました。

今回は、『在宅医療における訪問リハビリテーションとの連携の重要性』につ
いて、カナオ訪問看護リハビリテーション鶴ヶ島 理学療法士の望月佑樹先生をお
招きして、御講演を頂きました。

訪問リハビリテーションの立場から在宅医療における多職種連携の重要性につ
いて症例をまじえ、お話を頂きました。

利用者様・家族様を支える医療には、訪問リハビリテーションが必要であること
を改めて感じる講演内容であったと思います。

今回の講演を踏まえ、当院においても訪問看護リハビリテーションとの連携を
より深めて参りたいと思います。

引き続き、地域連携セミナーを通して、『在宅医療における多職種連携の必
要性』について定期的に発信して参りたいと思います。

最後になりますが、今回の講演会の開催に御尽力して頂きました協和キ
ン株式会社の皆様にはこの場をかりて改めて御礼を申し上げます。

次回の地域連携セミナーは2023年3月頃を予定しております。

詳細が決まり次第ご案内させていただきます。

次回の参加も何卒よろしくお願い申し上げます。

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。

また、今後の要望等ございましたら、下記連絡先に電話又はFAX等でご連絡ください。

地域の相談窓口として、セミナーへの要望・業務での疑問でも結構ですので、お気軽にご連絡く
ださい。

北坂戸ファミリークリニック 〒350-0229 埼玉県坂戸市薬師町3-2 TEL:049-280-8080

FAX:049-210-3812